

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルホームひまわり 錦ヶ丘		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもが安心して通所し、利用日を楽しみにしている様子が 見られること	・子ども一人ひとりの特性や気持ちを大切に、安心して過ご せる環境作りを心がけている ・遊びや活動を通して、子どもが笑顔で過ごせる場所を大切に している	・今後も子どもが安心して通所できる環境を維持しながら、 一人ひとりの特性に応じた支援の充実にも努めていく
2	・個別支援計画に基づき、子どもの特性に応じた支援が行われ ていること	・半年ごとのモニタリングを行い、職員間で共有しながら支援 計画の見直しや支援方法の検討を行っている ・子ども一人ひとりに合った支援が行えるよう、職員全体で連 携しながら支援に取り組んでいく	・今後も職員間での情報共有や研修を通して、より専門性の 高い支援が行えるように努めていく
3	・保護者とのコミュニケーションが丁寧に行われていること	・送迎時の会話や連絡帳、LINE等を活用しながら、子どもの 様子や発達状況について保護者と情報共有を行っている ・相談や質問があった際には迅速に対応できるよう心がけてい る	・今後も保護者との信頼関係を大切にしながら、情報共有や 相談支援の充実を図っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・活動内容や職員体制など、事業所の情報が十分に伝わってい ない場合があること	・日々の送迎時の説明や連絡帳などで情報共有を行っているも の、活動の詳細や職員体制などについて十分に伝わりきって いないことが要因と考えられる ・保護者の方が活動の様子を直接見られる機会が少ないことも 一因と考えられる	・お便りやSNSでの情報発信を通して、日々の活動や子ども の様子をより分かりやすくお伝えしていく
2	・建物の構造上、バリアフリー面で十分とは言えない部分があ ること	・建物が既存のものであることから構造上の制約があり、十分 なバリアフリー化が難しい ・環境面だけでなく、職員の見守りや支援体制によって安全面 を補う形で対応することになっている	・子どもの特性や身体状況に応じて安全面への配慮を継続 し、安心して利用できる環境づくりに努めていく
3	・家族支援プログラムや保護者同士の交流機会について十分で ない部分があること	・家族支援プログラムや保護者同士の交流機会については、保 護者の皆さまの生活状況や参加のしやすさなどを考慮し、現時 点では父母の会などの開催が難しい状況であることが要因と考 えられる	・相談支援や情報提供を通して、保護者の不安や悩みに寄り 添えるように努める ・保護者のニーズを踏まえながら、必要に応じた情報提供や 家族支援のあり方について検討していく